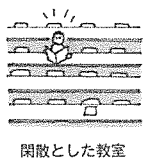



★★ ポイント ★★

「多い」「少ない」についての表現一覧

		少				多
数量	皆無 まったく ひとつも 少しも 全然	わずか <small>じゃっかん</small> 若干 ひとにぎ 一握り 少し <small>ふ じゅうぶん</small> 不十分	いづらか 多少 少し やや ちょっと	いっぱい たくさん ずいぶん 少なからず <small>じゅうぶん</small> 十分	うなるほど あふれるほど おびただしい <small>かぞ</small> 数え切れないほど やたらと 山ほど <small>じゅう に ぶん</small> 十二分	
	人の混み具合	がら空き がらんとした がらがらの 人っ子一人いない	<small>かんさん</small> 閑散 人が少なく静かな様子。 ちらほら まばら 数えるほどの	 閑散とした教室	<small>まんいん</small> 満員 <small>ごんざつ</small> 混雑 <small>せいぎょう</small> 盛況 人が大勢集まり、にぎわう様子。 まずまずの	超満員 大盛況 鈴なり 人が一カ所に大勢集まること。 <small>りっすい</small> 立錐の余地もない 人が多くて身動きできない。
		 鈴なりの人だかり				

ゞ(^▽^) 辞書で使い方をチェックしてみよう!

① 次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(4) 閑散	(3) 盛況	(2) 立錐の余地もない	(1) 鈴なり
ア 人が一カ所に大勢集まること。	イ 人が少なく静かな様子。	ウ 人が大勢集まり、にぎわう様子。	エ 人が多くて身動きできない。

② 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(4) 人っ子	(3) 大	(2) □	(1) 超
盛況	満員	一人	一

③

次の文が正しくなるように、ことばを選んで（ ）に○を書きなさい。

(1) 展覧会てんらんかいは

まずまずの
ちらほら

() ()
() ()

人出ひとででにぎわった。

(2) あの島のどこかに財宝ざいほうが

まったく
うなるほど

() ()
() ()

いるといわれる。

④

次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 箱はこの中にチョコレートは

□

残のこっていないかった。

(2) もう

□

いただいたので、おなかがいっぱい
です。

(3) その催しもよおには

□

人しか集まらなかった。

(4) 座席ざせきには

□

の空きがあります。

(5) 夜も深まり、町行く人影ひとかげも

□

になった。

若干

十分

まばら

ひとつも

数えるほどの

ワンランク上の問題に挑戦

①

次のことばを使って、主語と述語が整った文を作りなさい。

(1) まったく

□

(2) たくさん

□

②

次の三つのことばを使って作文をしてみよう。

先月

劇

満員

□

ことわざ


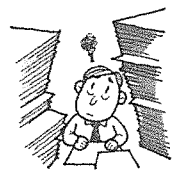
雨降って地固まる もめごとなどがあつたあとは、それ以前よりもかえってよい状態になること。

★★ ポイント ★★

「大きい」「小さい」についての表現一覧

小	中		大
<p>微小 ひしょう とても小さい様子。</p> <p>極小 きょくしょう とても小さいこと。</p>	<p>小型 ミニ 小ぶり ふつうより小さめな様子。</p> <p>コンパクト 小さくて、よくまとまっている様子。</p>	<p>中型 なみ 並 ちゅう 中ぐらい</p>	<p>大型 おお 大ぶり ふつうより大きめな様子。</p> <p>巨大 きょくだい とても大きい様子。</p> <p>特大 とくだい とても大きいこと。</p>
			<p>壮大 そうだい 規模が大きく、立派な様子。</p>

何かにたとえた大きさの表現

<小さい>	<大きい>
<p>ほり 針の先で突いたほどの こめつぶ 米粒ほどの 小指の先ほどの 手のひらにのるくらいの にぎ 握りこぶしほどの あか ぼう 赤ん坊の頭くらいの</p>	<p>手で持てないくらいの ぞう 象のような 岩のような 山のような</p>
 <p>手のひらにのるくらいの</p>	 <p>山のような</p>

(^_^)/ ほかにどんなことばがあるかを調べてみよう!

米粒 山 手のひら 針の先

- (4)
- (3) チップ
- (2)
- (1)
- で突いたほどの斑点 はんてん
- のような書類
- ほどの大きさの IC
- にのるくらいの子猫 こねこ

ものを二度以上選ばないこと。

②

次の にあてはまることばを、後の

から選んで書きなさい。ただし、同じ

- ア 小さくて、よくまとまっている様子。
- イ ふつうより小さめな様子。
- ウ とても小さい様子。
- エ 規模が大きく、立派な様子。

- (4) 壮大 ()
- (3) 微小 ()
- (2) コンパクト ()
- (1) 小ぶり ()

①

次のことばの意味を後のア〜エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

③

次の□には身体に関することばが入ります。□に最も適切な漢字一字を書きなさい。

(1) 母は□で持てないくらいの大きなパンを作った。

(2) トラの赤ちゃんは、ちょうど□のひらにのるくらいの大ききだった。

(3) 庭の木は、小□の先ほどの大ききの実をつけた。

④

次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 今度の映画は□なスケールの大作だ。

(2) □な地震に備えて対策を立てる。

(3) □の強きの台風は速度を上げて北上している。

(4) 弟は幼いので、□の茶碗でご飯を食べる。

並 巨大 壮大 小ぶり

ワンランク上の問題に挑戦

①

次のことばを使って、主語と述語が整った文を作りなさい。

(1) 巨大

(2) 米粒ほどの

②

次の三つのことばを使って作文を試みよう。

昨年 パーティー 特大

Three vertical rectangular boxes for writing an essay.

ことわざ

急がは回れ 急ぐときこそ、遠回りなようでも安全確実な方法を選んだ方が、結局はよい結果になることが多いという教え。

★★ ポイント ★★

「遠い」「近い」についての表現一覧


物理的な距離

心理的な距離

近

遠

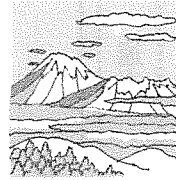
となり
隣
かたわら 物や人のすぐ近く。
きんじよ
近所
きんべん
近辺
ふ きん
付近
はな
目と鼻の先 すぐ近くであることのとえ。



かたわら

ちか
近しい した
親しい
仲良し
しつこん
昵懇
親しく、遠慮のないこと。
こんい
懇意 親しく付き合っている様子。
みつせつ
密接 つながりが深い様子。
しんみつ
親密 とても親しい様子。
きが置けない 打ち解けて、気楽に付き合える。
きごころ
気心が知れる 相手の気持ちや性質がわかる。

向こう
えんぼう
遠方 距離が遠く隔たっている様子。
かなた 遠く離れた所。
はるかかなた
地の果て 陸地のいちばん端の所。



はるかかなた

きより
距離を置く
相手との間に心理的な隔たりを設ける。
遠ざかる 関係が薄くなる。
へだ
隔たる 親しみが次第に薄くなる。
足が遠のく ほとんど訪れなくなる。
はな
離れる
そえん
疎遠 親しみが薄れている様子。
むえん
無縁

(^_^)/ ほかにどんなことばがあるかを調べてみよう!

	(4)	(3)	(2)	(1)
気心				
地				
目				
足				

が遠のく
が知れる
の果て
と鼻の先

選ばないこと。

②

次の□にあてはまることばを後の□から

選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上

選ばないこと。

ア 相手との間に心理的な隔たりを設ける。
イ 打ち解けて、気楽に付き合える。
ウ とても親しい様子。
エ 親しみが薄れている様子。

(4)	(3)	(2)	(1)
疎遠			
距離を置く			
親密			
気が置けない			

①

次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選

び、記号で答えなさい。

3 次の（ ）のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

(1) 昔よく通った店だが、最近はずつかり足が
（遠のいて ・ 遠ざかって）しまった。

(2) 祖母の（かなた ・ かたわら）で猫が眠っている。

(3) （無縁 ・ 懇意）にしている社長から手紙をいただく。

4 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書き
なさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 彼女とは昔から□だ。

(2) 二つの現象には□なつながりがある。

(3) 彼は□が置けない友だちだ。

(4) □から来る客を駅まで出迎える。

(5) 落とし物をして、家の□を捜し回る。

気 密接 遠方 付近 仲良し

ワンランク上の問題に挑戦

1 次のことばを使って、主語と述語が整った文を作りなさい。

(1) 親しい

(2) はるかかなた

2 次の三つのことばを使って作文をしてみよう。


昨日 迷子 目と鼻の先

ことわざ

好きこそ物の上手なれ 自分の好きなことには熱心に取り組むので、自然に上達するものということ。

★★ ポイント ★★

「新しい」「古い」についての表現一覧

新しい		古い	
食材 <small>しんせん</small> 新鮮 活きのよい とれたて もぎたて みずみずしい 生き生きして新鮮な様子。 物品 <small>しんぴん</small> 新品 <small>しんちよう</small> 新調 服などを新しく作り、買ったりすること。 <small>まあた</small> 真新しい おろしたて 新品を使ったばかりであること。 まっさら 一度も使用していないこと。 ぴかぴか	技術・思考 <small>ざんしん</small> 斬新 著しく目新しい様子。 <small>かっきてき</small> 画期的 驚くほど素晴らしい様子。 <small>さいしんえい</small> 最新鋭 最も新しくすぐれていること。 <small>さいせんたん</small> 最先端 時代や流行のいちばん先頭。 類のない 似ているものがない。 モダン 現代的で、しゃれた感じがする様子。	時代に合わない <small>じだいまくご</small> 時代錯誤 ものの考え方や方法などが、時代に合わないこと。 時代おくれ そのときの考え方や流行などにおくれていること。 手あかのついた 使い古されて新鮮味がなくなる。 レトロ <small>れいふう</small> 昔風で懐かしさを感じさせる様子。 傷んでいる <small>ろうきゅうか</small> 老朽化 古くなり、役に立たなくなる様子。 くたびれる 物が使われて古くなる。	古ぼける 古くなって鮮やかでなくなる。 ぼろぼろ 価値がある 古典的 伝統的 <small>ねんだいもの</small> 年代物 アンティーク 古美術品や骨とう品。 クラシック 古典的な様子。 人 <small>ふるかぶ</small> 古株 古くからいる人。 ベテラン 経験が豊富で、その道に慣れて上手な人。
	 <p>おろしたての靴</p>	 <p>くたびれた靴</p>	

(*°▽°) / ことばの使い方を調べてみよう！

時代 活き 類 手あか	(4)	(3)	(2)	(1)	② 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。	① 次のことばの意味を後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

③ 次の（ ）のことばのうち、正しい方を○で囲みなさい。

(1) 長年着込んだコートは、見るからに（疲れて・くたびれて）いた。

(2) その建物は（レトロ・ベテラン）な雰囲気をかもし出している。

(3) せっかくの（おろしたて・もぎたて）の靴を汚してしまった。

(4) （すがすがしい・みずみずしい）野菜を産地から取り寄せる。

④ 次の□にあてはまることばを、後の□から選んで書きなさい。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。

(1) 橋の□
化が進んでいる。

(2) その発明は□
的だった。

(3) □
的なしきたりを後世に受け継ぐ。

(4) □
なファッションで流行を先取りする。

斬新 画期 伝統 老朽

ワンランク上の問題に挑戦

① 次のことばを使って、主語と述語が整った文を作りなさい。

(1) 新鮮

(2) ベテラン

② 次の三つのことばを使って作文を試みよう。

数年前 セーター ぼろぼろ

--	--	--

ことわざ

立て板に水 立てた板に水を流すと、速く下に落ちるように、すらすらと流れるように話す様子のこと。

正解数

組 番 名前：

問 / 13 問

① 漢字と漢字を合わせて別の漢字や熟語をつくり、□に漢字を一字ずつ書きなさい。

(5) 斤 + 言 + 立 + 木 + 周 ↓
□
□

(4) 木 + 十 + 口 + 朱 ↓
□
□

(3) 王 + 今 + 王 ↓
□

(2) 刀 + 角 + 牛 ↓
□

(1) 立 + 心 + 日 ↓
□

〈例〉 土 + 日 + 寸 ↓
□ 時

② 矢印の方向に読んで二字の熟語になるように、□に漢字を一字ずつ書きなさい。

(2) 粉 ↓
淡 → □ ← 風
吹 ↑

(3) 鮮 ↑
年 ← □ ← 斬
調 ↓

(大地・地面・地域・土地)

〈例〉 大 ↓
土 → 地 → 面
域 ↓

(1) 不 ↓
員 ← □ → 悦
足 ↓

③

次のばらばらになった四枚のカードを並べて、四字熟語を完成させ、□に漢字を一字ずつ書きなさい。

(1)

日 春 和 小

ヒント 初冬のほかほか陽気

(2)

愛 相 思 相

ヒント 両思い

(3)

色 満 尊 面

ヒント 見るからにうれしそう

(4)

錯 誤 時 代

ヒント ちよつとずれていない？

④

次の各慣用表現の□にあてはまる漢字を後の表から探して、すべて塗りつぶしなさい。

□が上がらない

□に泥を塗る

□の虫が治まらない

□を焦がす

□を見張る

腹	頭	足	腹	目
頭	腹	胸	頭	顔
目	顔	目	胸	胸
口	胸	顔	目	手
耳	手	頭	口	足

ことわざ

灯台下暗し 灯台の明かりの下は暗いように、身近なものの方がかえってよくわからないものだといふたとえ。